

平成20年度 南丹市事業評価表 (平成19年度 実施事業)

事業CD. 8363 事業名: 展示会事業
 細事業名: _____

政策体系上の位置付け (参考) 平成20年度～ 総合振興計画実施事業

政 策: 第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る
 基本施策: 5 伝統文化を継承する
 主な施策: (2) 歴史文化遺産の周知と活用

所管部署名
 部局名: 教育委員会
 課 名: 社会教育課

科目CD. 1100504 作成日 平成20年10月17日
 事業分類: B:ソフト事業
 新規事業 時限事業 (平成 年度迄)

実施根拠 (法令、条例等)
博物館法、南丹市立文化博物館条例 他

事業運営方法 直営 一部委託 全部委託 補助等
 委 託 先 民間 三セク NPO 学校 自治会・地縁団体
 その他 ()

事業概要

◆ 課題・目的 (どのような課題を解決するために実施した事業なのか)
 博物館利用者の学習意欲をかきたてるような展示会を定期的実施し、収蔵資料についても充実させる。

◆ 活動内容 (具体的にどのような活動を行ったのか)
 特別展示会を開催した。
 体験講座を実施した。
 刊行物を発刊した。

◆ 対 象 (この事業を実施するにあたり、ターゲットとした者(物)は何か)
 博物館・資料館の入館者
 関連行事の参加者及び発行物の販売数

◆ 結 果 (この事業を実施したことにより、どのような効果または結果が得られたのか)
 展示会を定期的開催した。
 収蔵資料を充実させた。

指 標		単 位	18実績	19実績	20予算	21計画
活 動 指 標	① 季節に応じた展示会の開催			精 査 途 中		
	② 展示に即した体験講座の開					
	③ 解説書の作成					
	④					
	⑤					
対 象 指 標	① 博物館・資料館の入館者			精 査 途 中		
	②					
	③					
成 果 指 標	① 新しい知識の習得度(アンケート)			精 査 途 中		
	②					
	③					

市民や議会等からの要望・意見 (要望や意見の内容とその内容を確認した手段は何か)
アンケート調査

近隣市町村や民間企業での同種事業の実施状況
同事業を実施

決算(予算)額	(千円)	7,210	7,443	7,690	8,537	
財 源 内 訳	使用料・手数料等	(千円)	0	0	115	115
	国・府支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	7,210	7,443	7,575	8,422
職員従事時間	(人)		3.00			
人件費 ※	(千円)		8,758			
トータルコスト ※	(千円)		16,201			

※人件費は、職員の給与・諸手当・共済などから、一定の基準に基づき算定したおおよその額です。
 ※人件費およびトータルコストは、あくまでも参考値です。

【公共性の評価】

- (1) 行政の守備範囲 (民間や市以外の機関等が実施すべき事業ではなかったか)
- 法令等により定められた事業 市が実施すべき事業 行政内部の事業
- 民間等での実施は見込めない 民間等での実施も可能

説明: 博物館法等で展示が定められている

- (2) 事業選定の妥当性 (事業の目的や意図が政策や施策の目指す方向にあっているか)
- 施策等の実現に向けた事業 施策等の方向とマッチしていない

説明: 博物館・資料館の有効活用

- (3) 対象の妥当性 (事業の本質から考えて的を得た対象を定めているか)
- 本質に沿った対象である 的を得た対象となっていない

説明: ささまざまな企画展示を行った。

【有効性の評価】

- (4) 課題解決への有効度 (目的の達成や、課題解決のために有効的な事業か)
- かなり有効的 当初の予想どおり 予想しても有効的でなかった

説明: 博物館・資料館の機能を活用できた。

- (5) 施策実現に対する有効度 (総合計画の施策実現に対して有効的な事業か)
- かなり有効的 当初の予想どおり 想定よりも有効的でなかった

説明: 市民の学習機会が提供できた。

- (6) 成果向上の余地 (施策実現に向け更なる成果向上の余地はあるか)
- 大きい 小さい 無い

説明: 展示の内容を充実させる。

- (7) 類似事業との統合・再編・連携の余地 (他の類似事業と統合や連携ができないか)
- 統合や連携等の検討可能 統合や連携はできない 類似事業がない

説明: 博物館・資料館が効率的に連携する。

新たに生じた課題・解決できなかった課題等

魅力ある展示会の開催

改革案 (いつ、どのような改革を、どのような手段で行うのか)

展示内容の検討

【緊急性の評価】

- (8) 課題解決への緊急度 (なぜ早期に実施しなければならなかったか)
- 法令等により期限がある 他事業よりも効果が大い 早期の取り組みが必要
- 他事業よりも優先度が高い 市民の生命・財産を守るため 緊急性は低い

説明: 継続性が必要

【効率性の評価】

- (9) コスト削減の余地 (事業内容、職員労力、仕事の進め方などから)
- 削減の余地あり 削減の余地なし

説明: 展示内容の検討

- (10) 受益者負担の適正 (社会状況等から受益者の負担は適正か)
- 正当な受益者負担 見直す必要あり 負担を強いる事業ではない

説明: 入館料の負担

【協働性の評価】

- (11) 市民との協働による事業実施 (協働による実施を検討したか)
- 協働事業には不向き 協働では実施していない 協働で行ったが主体は行政
- 協働で行ったが住民主体は一部 市民等が主体となって実施

説明:

- (12) 協働事業としての推進の余地 (今後、協働による推進できる余地はないか)
- 余地あり 余地なし

説明: 展示協力者の養成

所 属 長 総 括 評 価

文化博物館・日吉町郷土資料館ひいては美山町かやぶき美術館などとの連携が必要。博物館、郷土資料館においては南丹市にちなんだ展示会を開催すべきと考える。(単に客寄せ事業だけでは中身がない)

※事務局使用欄

一次評価	継続 (現状維持)	改善案のとおり単なる客寄せではなく、市が博物館等を設置している意味を考えて事業をすすめてほしい。
二次評価	継続 (現状維持)	地域の歴史や文化財の理解を深め、それらを市民共通の財産として愛護され、次代に継がれるよう啓発するため必要